

各コンテンツの様態を
アンケートの声とともにご紹介します！



市長公室シティプロモーション・
広報担当 山本主任

こどもまつり

「みどりとまつり」内で開催される、「こどもまつり」は子どもたちが主役。自分たちでやってみたいことを考え、どんなおまつりにするかを「こどもまつりかいぎ」で話し合って準備し、当日は20ブース以上が出店しました。手作りのアクセサリ販売や、子どもたちが考えたスライム作りやピンボールゲーム、射的等の体験ブースがずらりと並び、ギターライブも大盛況となりました。

「もりとこプレーパーク」コーナーでは、子どもたちが段ボールを使って遊び、雨が降った際には自分たちで考えて雨避けシェルターを作るなど、自由な発想でのびのびと遊んでいました。

自分だけのメダル
をつくったよ！

子どもたちの
お店が**可愛**
かったです♡

子どもが
子どもら
しく遊べる
のがよかった。

のびのびと楽しそうに家族
や友達と過ごしているの
を見て、**温かく幸せ**
気持ちになりました。

[特集]

みどりと まつり & green fes



市長公室シティプロモーション・広報担当(☎511-9119)

誰もが楽しめるまつり

3月20日、総合公園でみどりとまつり〜&green fes〜が開催されました。

開催5回目となる今年も「みどりのまちに暮らすわたしたちのおまつり」をテーマに、市内外の個店から福祉施設のブースまで約100店が集結するマーケットや、子どもも大人も一緒に楽しむ音楽ライブ、手話を交えたネギ収穫体験などが行われました。約7,000人が来場し、地域の魅力に出会いながら、来場者や出店者の垣根を超えて、年齢・障がいの有無に関わらず個人と地域がゆるやかにつながり合う1日となりました。



雨だからこそ 楽しみ方も

11時頃から小一時間ほど降った雨の中でも、まつりを楽しむ姿があちこちで見られました。ブラスバンドの練り歩き「ざやえんどう」は、遊具の下で演奏を続け、子どもたちも加わり音楽を楽しんでいました。マーケットでは、雨音をBGMに、出店者と来場者がじっくりと向き合う時間が生まれました。出店者同士でも、雨避けのテントをシェアするなど助け合う姿も見られ、春の雨が降る会場には、穏やかな時間が流れていました。



雨の中、**ダンボール**
を被っている子がいました。
みどりとまつりらしくて
ほっこりしました。

演奏に人の**輪**
が。子どもが
音楽と戯
れて楽しんで
いました。

子どもたちが
雨でも
遊具で**遊び**、
帰らない
のがすごい。



雨が降っても
へっちゃら！

